

# 2021年度第2四半期 決算説明会

2021年10月29日  
株式会社村田製作所



## 当第2四半期決算説明会のトピックス

**muRata**  
INNOVATOR IN ELECTRONICS

- 当第2四半期の売上高は、スマートフォンの季節性もあり、モジュールやコンデンサなどで売上が増加し、直前四半期比6.6%の増収。前回予想比では、半導体やその他部材の不足によるセット台数の減少はあったものの、在庫積み上げの動きが継続したことで、予想通りの着地。
- 上期の売上高は、カーエレクトロニクス向けやコンピュータ及び関連機器向けが大きく伸長したため、前年同期比20.8%の大幅な増収。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

2

当第2四半期の売上高は、スマートフォンの季節性もあり、直前四半期比で6.6%の増収となりました。

前回の7月の予想比でいいますと、半導体、その他部材の不足によってセット台数の減少があったとは認識しているものの、お客様での在庫の積み上げの動きが継続したことで、ほぼ前回予想どおりの着地となりました。

上期の売上高は、前年同期比20.8%増の大幅な増収となりました。

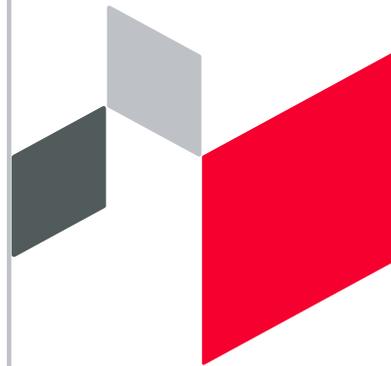
## 当第2四半期決算説明会のトピックス

- 上期の営業利益は、生産高増加に伴い生産関連費用は増加したが、操業度益やコストダウンなどの増益要因により、前年同期比68.9%の増加、営業利益率は同比7.0ポイント上昇の24.5%。
- 2021年度の通期業績予想は、7月公表値から見直しは行っておりません。

上期の営業利益は、主に生産高の増加により前年同期比68.9%の増加となりました。営業利益率は7.0ポイント上昇の24.5%となっております。2021年度通期の業績予想は、7月公表値から見直しは行っておりません。この背景は、後ほど説明させていただきます。

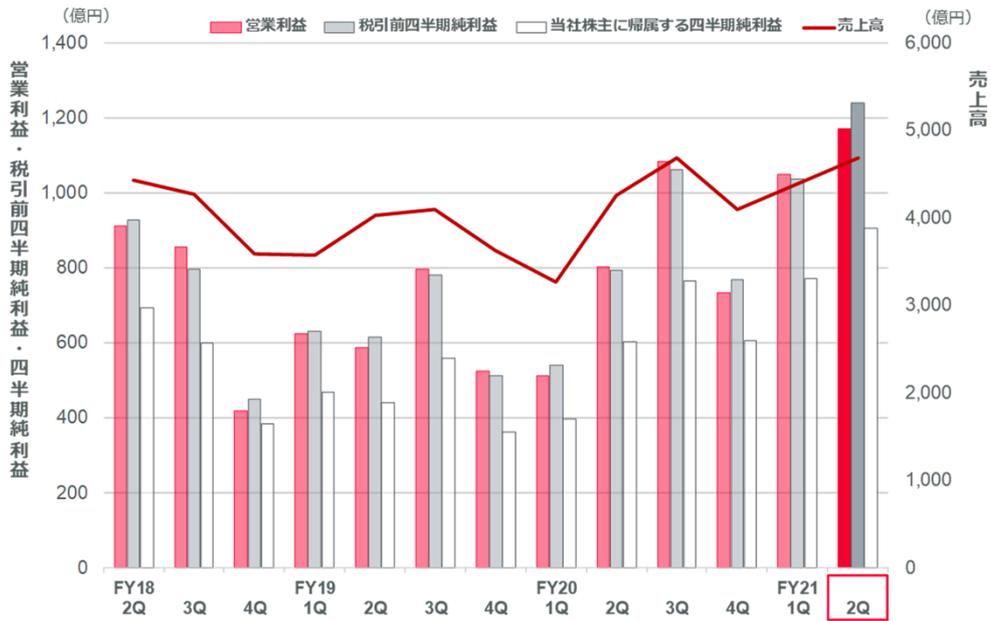
# 2021年度第2四半期 業績概要

2021年7月～2021年9月  
第2四半期連結会計期間



**muRata**  
INNOVATOR IN ELECTRONICS

業績推移（四半期）



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

5

当第2四半期は、各利益ともに四半期ベースでの過去最高を記録しています。

	2020年度		2021年度				直前四半期比		前年同期比			
	上期	(%)	第1四半期	(%)	第2四半期	(%)	上期	(%)	21Q2/21Q1	21年上期/20年上期		
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)		
売上高	7,520	100.0	4,396	100.0	4,685	100.0	9,081	100.0	+290	+6.6	+1,561	+20.8
営業利益	1,315	17.5	1,051	23.9	1,170	25.0	2,221	24.5	+120	+11.4	+906	+68.9
税引前当期純利益	1,332	17.7	1,037	23.6	1,241	26.5	2,279	25.1	+204	+19.7	+947	+71.1
当社株主に帰属する 当期純利益	999	13.3	772	17.6	906	19.3	1,678	18.5	+134	+17.3	+679	+68.0
為替 (円/USD)	106.92		109.49		110.11		109.80					

- 売上高は、直前四半期比では、スマートフォン向けでコンデンサや樹脂多層基板が増加。また、パワーツール向けにバッテリーが増加したことに加え、PC関連向けにコンデンサが増加したことで全体として増収。
- 営業利益は、直前四半期比で、生産高増加による操業度益とコストダウンにより増益。前年同期比で、生産高増加に伴う生産関連費用などの固定費の増加や製品価格の下落はあったが操業度益やコストダウンなどにより大幅な増益。
- 各利益は、半期業績および四半期業績としては過去最高を更新。

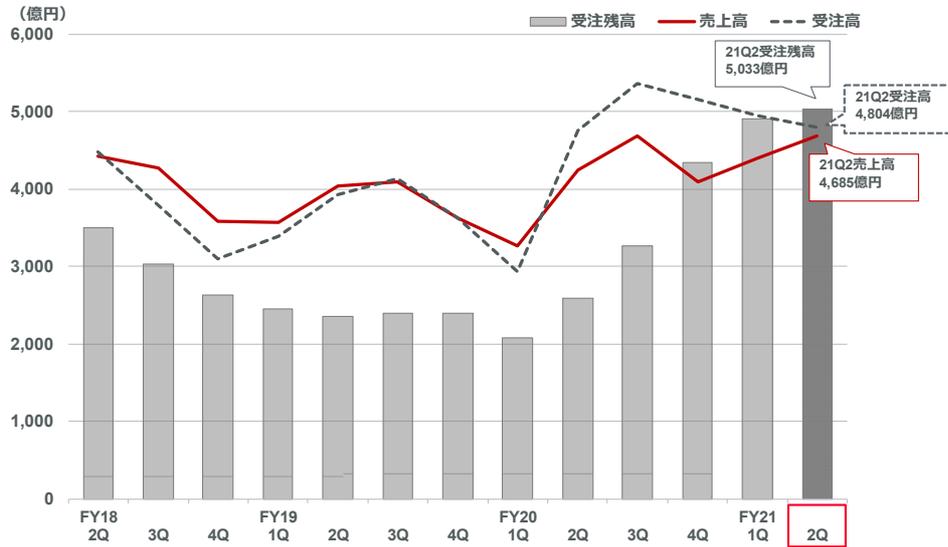
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

6

売上高の用途別、品種別の詳細は後ほど説明させていただきます。  
 利益の前四半期及び前年上期との比較につきましても、後ほどグラフ等を用いまして説明させていただきます。  
 当上半期累計では、売上高並びに各利益とも半期ベースで過去最高を記録しております。

## 売上・受注・注残推移（四半期）

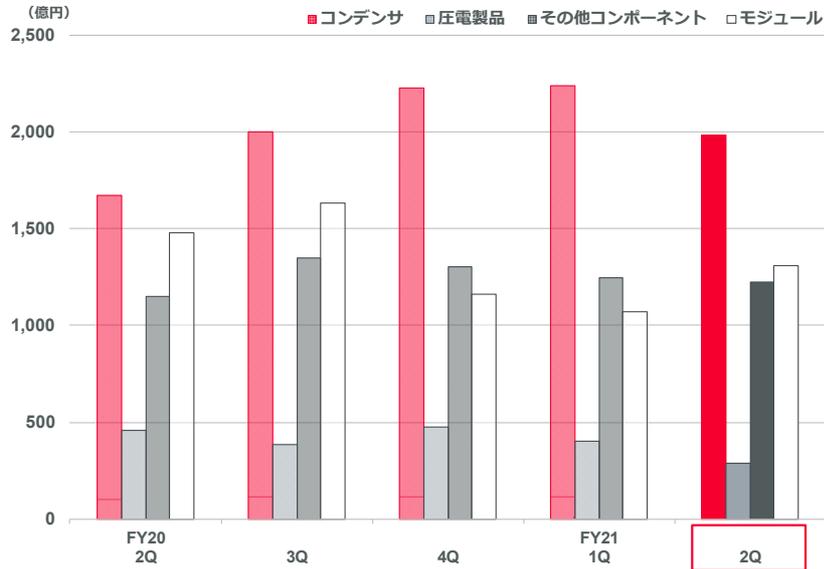
- ・ 高水準の受注が継続し、注残は過去最高を更新。
- ・ 自動車、PC関連向けの受注は、顧客による部品在庫積み増しの動きが収束するのに伴い減少しており、21Q2のBBレシオは1に近づいている。
- ・ 9月単月のBBレシオは1を下回り、受注は減少傾向。下期にかけて注残は減少する見込み。



受注残高につきましては、前四半期に続き過去最高を記録しました。前四半期からの変化点としましては、受注高が前四半期に対して若干減少しました。第2四半期のBBレシオは、1に近づいております。9月単月のBBレシオにつきましては1を下回っており、9月頃から受注は、調整局面に入っています。今後、下期にかけて注残は減少していくと考えております。

## 製品別受注高推移

前四半期(1Q)比では、スマートフォンの季節性によりモジュールの受注高は増加したが、コンデンサの受注高は幅広い用途で減少。



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

8

前四半期と比較しますと、コンデンサ並びに圧電製品が減少しました。一方、モジュールは季節的な要因もあり、第1四半期と比べ増加しております。

	2020年度		2021年度		2021年度		直前四半期比		前年同期比	
	上期	(%)	第1四半期	第2四半期	上期	(%)	21Q2/21Q1	(%)	21年上期/20年上期	(%)
	(億円)		(億円)	(億円)	(億円)		(億円)		(億円)	
コンデンサ	2,906	38.7	1,893	2,024	3,917	43.2	+132	+7.0	+1,011	+34.8
圧電製品	607	8.1	388	376	763	8.4	▲12	▲3.1	+156	+25.7
その他コンポーネント	1,787	23.8	1,109	1,210	2,319	25.6	+100	+9.0	+532	+29.8
モジュール	2,207	29.4	999	1,069	2,067	22.8	+70	+7.0	▲140	▲6.3
製品売上高計	7,507	100.0	4,388	4,678	9,066	100.0	+290	+6.6	+1,559	+20.8

製品別売上高の前四半期及び前年同期との比較は、次のページ以降で説明させていただきます。

<b>コンデンサ</b> (前年同期比+34.8%)	○積層セラミックコンデンサ (MLCC) ・部品在庫積み増しの動きが継続したことにより、カーエレクトロニクス向けで大きく増加 ・PC及び関連機器向けやスマートフォン向けで増加
<b>圧電製品</b> (前年同期比+25.7%)	○表面波フィルタ スマートフォン向けで大きく増加したほか、IoT機器向けで増加
<b>その他コンポーネント</b> (前年同期比+29.8%)	○インダクタ スマートフォン向けやPC向けで大きく増加 ○リチウムイオン二次電池 パワーツール向けで大きく増加
<b>モジュール</b> (前年同期比▲6.3%)	▲コネクティビティモジュール 製品ポートフォリオ見直しによりスマートフォン向けで減少 ▲高周波モジュール スマートフォン向けで減少

コンデンサは、前年同期比で大幅な増加となっております。様々な用途で増加しており、特にカーエレクトロニクス向けが大きく増加しております。

圧電製品は、表面波フィルタが増加しました。また、その他のコンポーネントは、インダクタおよびリチウムイオン二次電池が増加しています。

モジュールは、前年同期比で減少しています。この減少の内訳として1点目は、製品ポートフォリオの見直しによりスマートフォン向けのコネクティビティモジュールが減少しております。また、高周波モジュールもスマートフォン向けで減少しております。

<b>コンデンサ</b> (直前四半期比+7.0%)	<b>○積層セラミックコンデンサ (MLCC)</b> ・スマートフォンやPC関連向けで増加 ・カーエレクトロニクス向けは、部品在庫積み増しの動きが継続したことにより、高水準を維持
<b>圧電製品</b> (直前四半期比▲3.1%)	<b>▲表面波フィルタ</b> スマートフォン向けで減少
<b>その他コンポーネント</b> (直前四半期比+9.0%)	<b>○リチウムイオン二次電池</b> パワーツール向けやゲーム機向けで増加  <b>○インダクタ・コネクタ</b> スマートフォン向けで増加
<b>モジュール</b> (直前四半期比+7.0%)	<b>○樹脂多層基板</b> スマートフォン向けで増加  <b>▲高周波モジュール</b> スマートフォン向けで減少

コンデンサは、スマートフォン向け及びPC関連向けが増加しております。カーエレクトロニクス向けは増加していないものの、部品在庫の積み増しの動きが継続したことから高水準の売上を維持しております。

圧電製品では、表面波フィルタが減少しました。また、その他コンポーネントにつきましては、リチウムイオン二次電池、インダクタ、コネクタが増加しております。

モジュールは、樹脂多層基板が季節性もあり増加しております。高周波モジュールは若干減少しております。

	2020年度		2021年度		2021年度		直前四半期比		前年同期比	
	上期		第1四半期	第2四半期	上期		21Q2/21Q1		21年上期/20年上期	
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
A V	361	4.8	190	206	396	4.4	+17	+8.8	+35	+9.6
通信	3,813	50.8	1,857	2,071	3,927	43.3	+214	+11.5	+114	+3.0
コンピュータ及び関連機器	1,393	18.5	897	931	1,828	20.1	+34	+3.8	+435	+31.2
カーエレクトロニクス	1,093	14.6	827	821	1,648	18.2	▲6	▲0.8	+556	+50.9
家電・その他	847	11.3	618	649	1,267	14.0	+31	+5.0	+419	+49.5
製品売上高計	7,507	100.0	4,388	4,678	9,066	100.0	+290	+6.6	+1,559	+20.8

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高の前四半期及び前年同期との比較も、次ページ以降で説明させていただきます。

<b>AV</b> (前年同期比+9.6%)	○巣ごもり需要を背景にゲーム機向けにコンデンサが増加
<b>通信</b> (前年同期比+3.0%)	○スマートフォン向けにコンデンサや表面波フィルタが増加 ▲基地局向けにコンデンサが減少
<b>コンピュータ及び関連機器</b> (前年同期比+31.2%)	○リモートワークやオンライン教育に対する需要を背景にPC向けにコンデンサやインダクタが大きく増加
<b>カーエレクトロニクス</b> (前年同期比+50.9%)	○部品在庫積み増しの動きが継続したことにより、コンデンサが大きく増加 ○EMI除去フィルタやインダクタの売上が増加

(注) 当社推計値に基づいております

AV向けが増加しております。

通信向けにつきましては、スマートフォン向けにコンデンサ、表面波フィルタが増加し、基地局向けにコンデンサが減少しています。

コンピュータ関連機器向け、カーエレクトロニクス向けは、前年同期比で大きく増加しております。

<b>AV</b> (直前四半期比+ 8. 8%)	○巣ごもり需要を背景にゲーム機向けでリチウムイオン二次電池やコンデンサが増加
<b>通信</b> (直前四半期比+ 11. 5%)	○スマートフォン向けで樹脂多層基板、コンデンサ、コネクティビティモジュールが増加 ▲スマートフォン向けで高周波モジュールが減少
<b>コンピュータ及び関連機器</b> (直前四半期比+ 3. 8%)	○PCやサーバー向けでコンデンサが増加
<b>カーエレクトロニクス</b> (直前四半期比▲ 0. 8%)	○部品在庫積み増しの動きが継続したことにより、コンデンサが高水準を維持

(注) 当社推計値に基づいております

AV向けが増加しています。

通信向けはスマートフォン向けで高周波モジュールは減少していますが、全体としては季節性もあり増加しています。

コンピュータ及び関連機器、並びにカーエレクトロニクス向けは、当四半期もお客様において在庫積み増しの動きが継続したため、売上高は高い水準を維持しております。

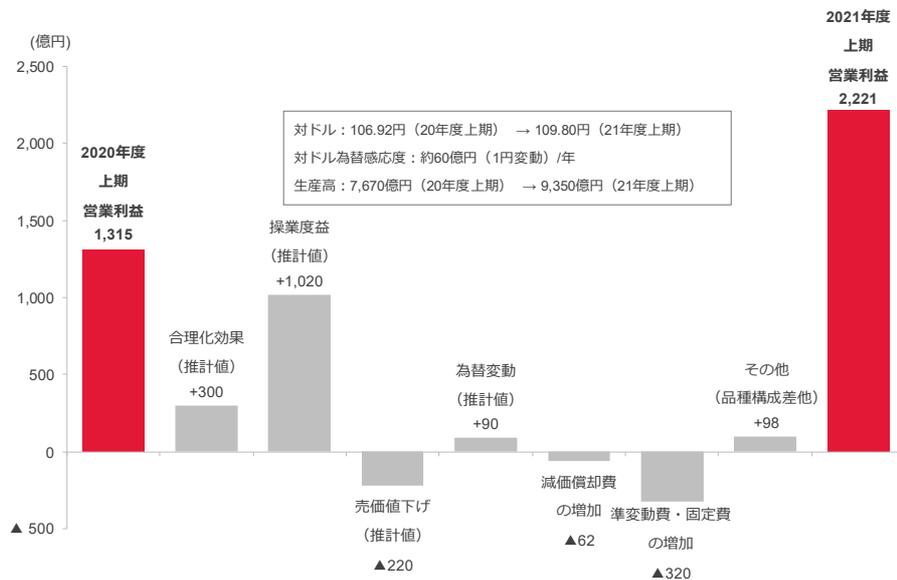
		2020年度		2021年度		増減	
		上期		上期		(億円)	(%)
		(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンポーネント	売上高	5,464	100.0	7,162	100.0	+1,698	+31.1
	事業利益	1,381	25.3	2,337	32.6	+956	+69.2
モジュール	売上高	2,207	100.0	2,067	100.0	▲140	▲6.3
	事業利益	217	9.8	195	9.4	▲22	▲10.3
その他	売上高	312	100.0	310	100.0	▲2	▲0.6
	事業利益	39	12.6	40	12.8	+1	+1.3
消去又は本社部門	売上高	▲463	-	▲459	-	+5	-
	本社部門費	▲322	-	▲351	-	▲28	-
連結	売上高	7,520	100.0	9,081	100.0	+1,561	+20.8
	営業利益	1,315	17.5	2,221	24.5	+906	+68.9

- **コンポーネント** コンデンサやインダクタの売上が増加したことにより増収増益
- **モジュール** コネクティビティモジュールにおいて製品ポートフォリオ見直しにより売上が減少したほか、高周波モジュールの売上が減少したことから、減収減益

コンポーネントは、コンデンサ、インダクタの売上が増加し、前年同期比で増収増益となっております。

モジュールは、製品ポートフォリオの見直しによりコネクティビティモジュールの売上が減少しました。また高周波モジュールも売上が減少したことから減収減益の結果となっております。

## 利益変動要因 [2020年度上期→2021年度上期]



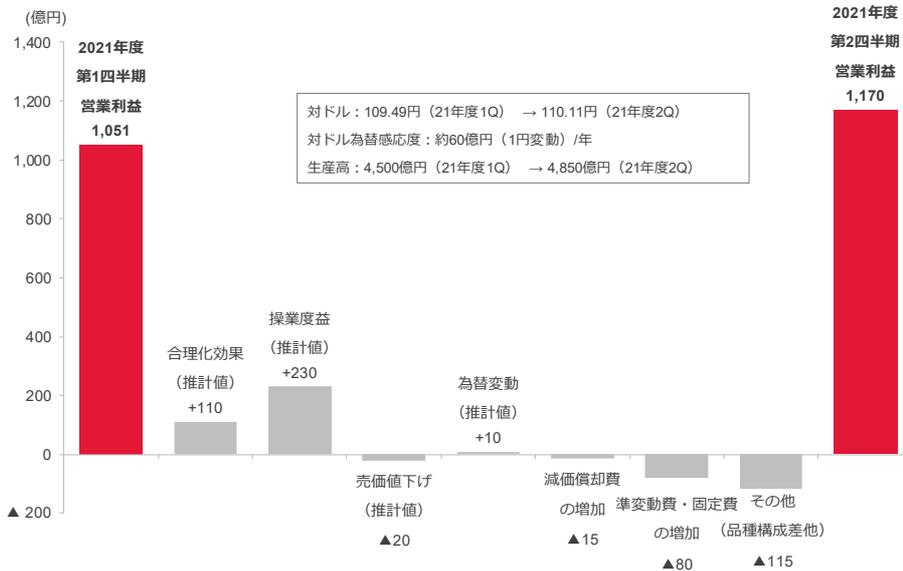
※操業度損益は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。  
 ※標準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

16

主には操業度益により営業利益が増加しております。  
 固定費の増加について少し補足説明させていただきます。増加要因の1つ目は、生産高の増加による生産関連費用の増加です。2つ目は、昨年度、特に期初、コロナウィルス感染症拡大で活動が停止していたことにより固定費が減少しました。その反動で当半期は増加しています。  
 特殊要因としては、リチウムイオン電池で輸送費が増加しております。

## 利益変動要因 [2021年度第1四半期→2021年度第2四半期]



※操業度損益は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。  
 ※標準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

前四半期との比較においても主には生産高の増加による操業度益で利益が増加しております。

その他の品種構成は、前四半期比で高周波フィルタの構成割合が若干減少し、季節性もあってモジュールが増加しています。高収益のものが若干減少し、比較的 low 収益のものが増加しているため、品種構成は利益減の方向に動いております。

## キャッシュフロー

	2020年度 上期 (億円)	2021年度 上期 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	1,140	2,079	+939
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 866	▲ 802	+63
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 111	▲ 390	▲279
為替変動による影響	▲ 17	▲ 1	+16
現金及び同等物残高	3,169	4,963	+1,794
フリーキャッシュフロー	274	1,277	+1,003
固定資産の取得	▲ 919	▲ 800	+119
減価償却費	698	760	+62

- 前年同期比で大幅な増益となることから、営業キャッシュフローは増加。
- 投資活動によるキャッシュフローにおいて、Eta Wireless社買収による支出が発生。

前年同期比で利益が大幅に増加したため、営業キャッシュフローは増加しております。投資活動によるキャッシュフローは、後ほど触れさせていただくEta Wireless社買収による支出が発生しております。現金及び同等物の残高は当半期において増加しております。フリーキャッシュフローも当半期において大きく増加しております。

**2021年度 業績予想**  
(2021年4月～2022年3月)



**muRata**  
INNOVATOR IN ELECTRONICS

## 2021年度 業績予想

	2020年度 実績		2021年度 通期予想		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	16,302	100.0	17,300	100.0	+998	+6.1
営業利益	3,132	19.2	3,650	21.1	+518	+16.5
税引前当期純利益	3,164	19.4	3,670	21.2	+506	+16.0
当社株主に帰属する 当期純利益	2,371	14.5	2,710	15.7	+339	+14.3
ROIC(税引前) (%)	18.5		20.4			
為替 (円/USD)	106.06		109.13			

※7月公表値の見直しは行っていません。

冒頭に申し上げましたとおり、7月に修正した業績予想を当四半期では変更していません。但し、事業環境に関しては変化がありましたので、口頭となりますが、2021年のわれわれの環境認識につきまわっていくつか説明させていただきます。7月に業績予想を変更した際は、下期に半導体不足が徐々に解消し自動車関連を中心にお客様の生産の正常化が図られると考えておりました。一方、足元の状況を見ますと、半導体不足が長期化しております。それに加え、例えば東南アジアでのコロナウイルス感染症拡大による影響や中国の電力供給問題といった事象も発生しております。こういった変化により、下期のお客様での生産高は7月に想定していたよりも減少すると考えています。

業績予想を修正していませんので、詳細な分析、想定はございませんが、自動車で言えば通期の生産台数に関しまして大まかに申し上げますと、7月に想定していたよりも500万~600万台ぐらい減少する可能性があると考えています。スマートフォンに関しまして、前回予想時には中華圏のスマートフォンメーカーからの取り込みの再開が第3四半期の後半に起こると説明しておりましたが、現在の中華圏での販売状況を見ますと、第4四半期にずれ込むと考えております。

一方でご認識のとおり、利益へのプラス要因も出てきております。1つは、為替が円安方向にかなり動いているということです。また、上期で既に180億円程度営業利益が予想よりも上振れております。これは上半期の生産高が7月時点で想定していたよりも350億円程度増加したことによるものです。このように、われわれが当初考えていたよりも生産高を上げていくことができたこと、また受注残高も先ほど申し上げましたとおり過去最高を更新した水準であることがプラス要因となります。そういったプラス要因がありながらも、先ほど申し上げたサプライチェーン上の制約によって、下期は不透明な部分が非常に多いということで今回は予想を据え置いております。

参考として申し上げますと、前回予想時には通期で1兆7,450億円の生産高を見込むと説明しておりました。これに対して上期の実績は9,350億円の生産高となりましたので、差し引きをすると下期は8,100億円の生産高ということになります。一方、下期の売上高は、差し引きをすると8,200億円以上となり、下期は在庫を減らしていくということになります。このような状況に対して、来期の市場環境の見通しがたち、またサプライチェーン上の制約が解消に向かうということであれば在庫は積んでいきたいと考えています。

そういった面では、今申し上げたことが達成されれば利益の上振れの要因になるかと考えています。一方、市場の状況によっては逆もあり得るということです。  
環境の認識は以上です。

トピックス



**muRata**  
INNOVATOR IN ELECTRONICS

## Eta Wireless社の買収

### 概要

- 買収時期：2021年9月
- 買収金額：約150百万USD
- Eta Wireless（イータ・ワイヤレス）社
  - ET Tracker（独自のPower management IC）とDPDアルゴリズムで実現する「Digital ET（Envelope Tracking）技術」を有する
  - 通信端末の送受信機能に関わるRF回路に与える電圧を最適化し、消費電力を削減



### 買収による効果

- Digital ETに適した高周波モジュールの設計・生産・販売
- ET Tracker、DPDアルゴリズムの技術・ビジネスの獲得

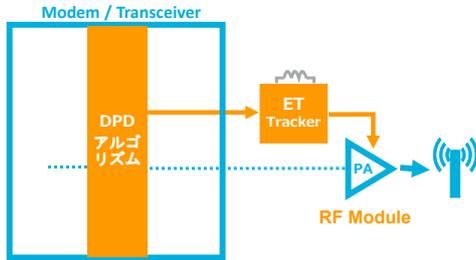
モジュール事業での差異化技術の獲得・競争優位性の確立へ

2021年9月にEta Wireless社を買収しました。買収金額は約1億5,000万ドル、日本円換算で164億円程度です。

Eta Wireless社は、RF回路での消費電力の削減に寄与する技術を保有しています。買収による効果は説明資料に記載の通りです。当社では、モジュール事業での差異化技術の獲得・競争優位性の確立を目指しており、今回の買収によりさらに一歩前へ進めることができるものと考えております。

## Eta Wireless社の買収

### Digital ETソリューション

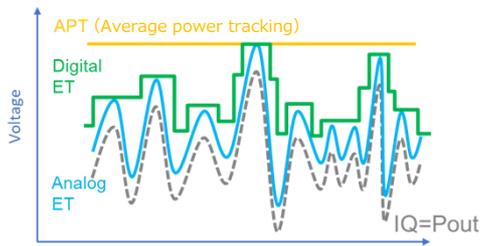


**DPD (Digital Pre Distortion) アルゴリズム**  
RF回路で発生するひずみ/ノイズを低減、RF IC/BB ICに実装しET Trackerをコントロール

**ET Tracker**  
RF回路（主にPA）に印加する電圧を最適化

**RF Module**  
Digital ET用に最適化  
低ノイズ・低消費電力

### 従来技術との比較



～ 4G領域：狭帯域通信  
Analog ETにより省電力化

5G/6G領域：広帯域通信  
Analog ETでの対応困難

**5G/6G : Digital ETにより対応**

Eta Wireless社の技術に関しては、後ほど質問等があれば回答させていただきます。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

**muRata**

INNOVATOR IN ELECTRONICS

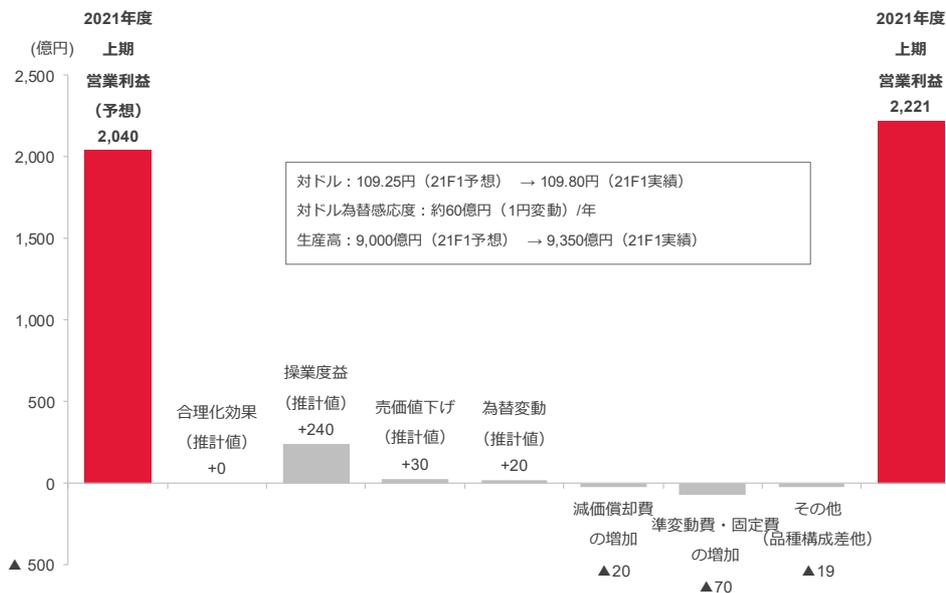
Thank you



補足

**muRata**  
INNOVATOR IN ELECTRONICS

利益変動要因 [2021年度上期予想(7月)→2021年度上期実績]



対ドル：109.25円 (21F1予想) → 109.80円 (21F1実績)  
 対ドル為替感応度：約60億円 (1円変動) /年  
 生産高：9,000億円 (21F1予想) → 9,350億円 (21F1実績)

※操業度損益は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。  
 ※準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

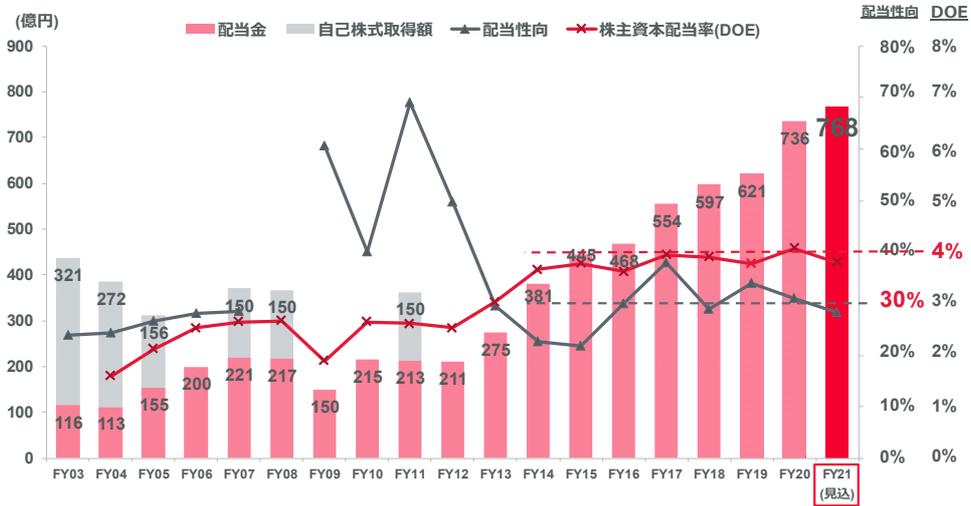
- 2021年度（2022年3月期）の配当（予定）  
1株当たり年間120円  
（中間配当60円／期末配当60円）  
※年間配当を前年度比5円増配

- 2020年度（2021年3月期）の配当  
1株当たり年間115円  
（中間配当55円／期末配当60円）  
※期末配当を従来予想比5円増配

※当配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります

## 株主還元推移

- **配当** 配当の安定的な増加を基本方針としており、  
中期的に配当性向30%程度を目安にDOE4%以上を実現
- **自己株式取得** 株主還元の手段として、資本効率の改善を目的に適時実施



補足

## 財務データ(1/3)

**muRata**  
INNOVATOR IN ELECTRONICS



(億円)

	2018年度			2019年度				2020年度				2021年度	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	4,429	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686	4,095	4,396	4,685
営業利益	913	856	417	626	588	795	524	513	802	1,084	733	1,051	1,170
税引前四半期純利益	928	797	449	632	616	780	513	539	792	1,063	769	1,037	1,241
当社株主に帰属する 四半期純利益	693	601	385	468	439	561	362	396	603	765	607	772	906
設備投資	788	727	624	529	620	814	854	402	438	489	639	426	321
減価償却費	305	323	347	336	346	357	364	340	359	357	375	373	387
研究開発費	243	251	262	261	253	247	264	248	262	244	263	270	272
対ドルレート(円)	111.46	112.90	110.21	109.90	107.35	108.76	108.97	107.62	106.22	104.51	105.90	109.49	110.11

補足

## 財務データ(2/3)

**muRata**  
INNOVATOR IN ELECTRONICS

(億円)

	2018年度			2019年度				2020年度				2021年度		
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
製品別売上高	コンデンサ	1,472	1,583	1,423	1,377	1,378	1,457	1,382	1,345	1,561	1,673	1,687	1,893	2,024
	圧電製品	385	321	300	314	319	336	323	264	344	320	366	388	376
	その他コンポーネント	1,083	992	909	924	986	928	792	774	1,013	1,070	1,020	1,109	1,210
	コンポーネント計	2,939	2,896	2,632	2,615	2,683	2,722	2,498	2,382	2,918	3,062	3,072	3,390	3,609
	モジュール	1,482	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121	879	1,328	1,618	1,016	999	1,069
売上高計	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	4,388	4,678	
用途別売上高	A V	197	175	150	169	177	148	116	154	207	184	173	190	206
	通信	2,355	2,133	1,546	1,639	2,121	2,261	1,900	1,592	2,221	2,477	1,759	1,857	2,071
	コンピュータ及び関連機器	653	680	595	586	606	581	532	680	713	745	777	897	931
	カーエレクトロニクス	630	660	685	668	661	662	644	428	664	800	839	827	821
	家電・その他	586	619	606	506	460	439	426	407	440	473	540	618	649
売上高計	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	4,388	4,678	
地域別売上高	南北アメリカ	763	751	456	472	579	458	387	286	487	552	380	456	586
	ヨーロッパ	322	332	415	361	317	304	338	212	318	350	383	404	403
	中華圏	2,315	2,161	1,657	1,727	2,081	2,372	1,921	1,988	2,441	2,764	2,318	2,450	2,569
	アジア・その他	664	642	684	630	696	608	646	487	677	628	629	684	694
	海外計	4,064	3,886	3,212	3,190	3,673	3,743	3,293	2,972	3,923	4,295	3,710	3,994	4,252
日本	357	380	369	378	353	349	326	289	322	385	378	394	426	
売上高計	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	4,388	4,678	

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

31

補足

## 財務データ(3/3)

**muRata**  
INNOVATOR IN ELECTRONICS

(億円)

		2018年度			2019年度				2020年度				2021年度	
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
コンポーネント	売上高	3,056	2,982	2,676	2,717	2,788	2,852	2,625	2,456	3,008	3,150	3,140	3,461	3,701
	事業利益	875	849	772	675	501	689	631	589	792	914	835	1,120	1,217
モジュール	売上高	1,482	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121	879	1,328	1,618	1,016	999	1,069
	事業利益	169	140	▲159	79	179	219	17	69	148	329	▲4	85	110
その他	売上高	336	208	236	169	154	140	129	144	168	151	147	156	155
	事業利益	34	22	21	15	16	12	15	19	20	19	19	20	20
消去又は本社部門	売上高	▲445	▲285	▲272	▲264	▲251	▲260	▲247	▲211	▲252	▲233	▲208	▲220	▲239
	本社部門費	▲165	▲155	▲216	▲143	▲108	▲125	▲139	▲164	▲159	▲179	▲117	▲175	▲176
連結	売上高	4,429	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686	4,095	4,396	4,685
	営業利益	913	856	417	626	588	795	524	513	802	1,084	733	1,051	1,170



---

**muRata**  
INNOVATOR IN ELECTRONICS